

**JICA 草の根技術協力事業**  
**日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト**  
**平成 26 年度第 2 回日本研修開講式**

国際部

平成 26 年 10 月 21 日（火）に独立行政法人国際協力機構（JICA）東京国際センターにおいて、「JICA 草の根技術協力事業 日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト 平成 26 年度第 2 回日本研修開講式」が外務省、JICA 及び（株）カイエンより来賓を迎え開催された。（写真 1）



写真 1 参加者一同

今回は、バトムンク・アルタンエルデネ（4 回目）、オユンバートル・ダリンチュルン（4 回目）、ムンフバートル・ボロルチメグ（3 回目）の 3 名が来日した。

工藤会長による歓迎の挨拶後、外務省アジア大洋州局中国・モンゴル第 1 課上席専門官藁谷栄様より、研修を継続してしっかり技術を修得してもらいたい、という激励のお言葉をいただいた。JICA 東京国際センター 所長佐々木十一郎様は、前回の閉講式の様子について触れられ、プロジェクトに対する日整へのお礼と研修員への激励のお言葉を述べられた。また、（株）カイエン ディレクターの小山正秀様からは、NHK ワールド「side by side -The Judo Therapy Cure Mongolia-」の放送の報告と、取材協力に対するお礼の言葉を頂いた。



写真 2 代表挨拶（ダリンチュルン研修員）

続いて、オユンバートル・ダリンチュルン研修員から代表挨拶が述べられ（写真 2）、工藤会長、佐々木所長へ記念品が贈られた。（写真 3、4）



写真 3 日整への記念品贈呈（モンゴル歴代皇帝の絵画）



写真 4 JICA への記念品贈呈

次に、各研修員からモンゴルでの活動報告が行われた。ダリンチュルン研修員は、膝関節痛、小児肘内障の症例報告、アルタンエルデネ研修員から、NHK ワールドの放送に取り上げられていた、小児鎖骨骨折及び下腿骨骨折の治療報告（写真 5）、ボロルチメグ研修員からは肘頭骨折、足関節捻挫の各症例報告があった（写真 6）。



写真 5 活動報告(アルタンエルデネ研修員)

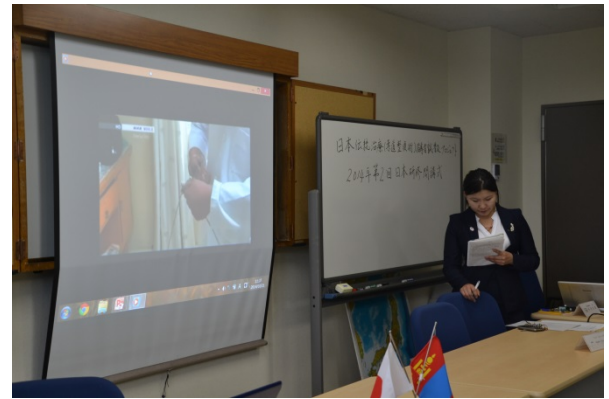


写真 6 活動報告(ボロルチメグ研修員)

今回は、開講式に先立ち、センター内を佐々木所長にご案内いただいた（写真 7）。世界各国からの研修員の宿泊棟をはじめ、本館のセミナールーム、講堂や、世界地図と共に各地の品が展示されている異国情緒あふれるラウンジ、イスラム教徒の祈りの部屋など広く案内していただいた。



写真 7 館内案内

開講式終了後には、食堂で懇親会を開催した（写真 8）。

たくさんの JICA 職員が、激励に駆けつけていただいたことは、研修員にとって大きな励ましになったにちがいない。



写真 8 懇親会（1階食堂）

前半の研修は、10月23日から約4週間、愛知県の接骨院で実施される。今回の各研修員による活動報告は、モンゴルにおける柔道整復術講義の様子とともに、実際の治療報告もあり、指導者候補の成長ぶりを感じとることができたが、日本研修を通しさらに柔道整復術の修得を目指して勉強してもらいたい。